

飯能市消費者団体連絡会 会報

しょうだれれん

No.30



2013年1月15日発行
事務局 090-5324-6412 川野

映画「東京原発」を観て

2012年9月17日
「東京原発」上映会
飯能市民会館小木一郎

○ユーモアがあつて、もっともくだらぬものだ！ もうともだ！ どうなすける場面、反対派の副知事のセリフがとてもわかりやすくて、しぶりに良い映画を観ました。多くの人に見てもらいたい作品です。

○映画の半ば頃から「何を訴えどんなに分かりやすく警笛を鳴らしていたか」が鮮明になつた。映画の意図する現在から未来への警告が映画が作られて暫く後に現実に起きた。警告のインパクトが強く残る。(つづけ)

○「メティ仕立てでおもしろく、そして、怖い…。」といふ
よくできた映画だなあ、と思いまして。日本の「原発」の現状が、ストレートに表現されています。2004年に公

○映画は痛烈なブラックコーキーを描いたパニックサスペンス。工ナルギー問題を真っ向から切り込んだ作品。地震余震が心配な今、原発再稼動反対。廢発大惨事を心配しなくてよい社会を作らなくては!!!

役所広司さん、段田安則さん、平田満さん：出演されている俳優さんたちも豪華で、当時の映画がもっと話題になっていたり。

よくできた映画だなあ、と思いました。日本の「原発」の現状が、ストレートに表現されています。2004年に公開された映画だそうですが、役所広司さん、平田満さん、出山されていける俳優たちも豪華で、当時のこの映画がもっと話題になっていたら。

○「東京原発」、実に痛快でした。この手のブラックユーモアは、今まで見た中で最も上手い、ソ

しいですね。これが「クシマの事故」の前に公開されていました」というのがすごい。



○原発事故により職を失い、家、田畠、美しい自然是汚染され、嘆句の果てに住み慣れた故郷を奪われ、生涯の危機に曝されながら、そして延々残るのは核のゴミだけ…。福島の被曝された方々の悲しみ、苦しみは一度とあってはならないことです。

唯一の被爆国である日本が原発を稼働し続けるのはなぜなのでしょうか。自然エネルギーがたくさんある生物は核と共に生きていけないのでです。「一日も早く原発を止めたい」と思っています。

○原爆の怖さがある。東北であれば大変なことになっているのに、過去も今もお金優先で、学者、原子力関係、国民が容認してきた。交付金がらみて原発は高いものになつてゐる。皆電でできる。「東京原発」…今のやり方まず不得、未来世代につけを残さないよう。皆が少しつつ我慢すればいいですよと訴えている映画だ。

○私たちの使う電気のことを真剣に考えたら、もう原発は止め

られないことだ。

○最後、役所広司さんする天馬知事の「日本人はすぐ忘れてしまう!」の台詞に泣けてしまった、と言つた友人はほんとに涙ぐんでいた。

○ただひとつ、被爆(原発)労働者の問題が描かれていらないことが残念。

○とてもおもしろかった。毎日、原発や放射能の「コースを開かない日はない位の時で、皆の関心も高かつたと思う。

○「政府のすることに責任者などいるわけないだろ!」

○「政府のすることに責任者などいるわけないだろ!」

忘れず、常にコンシンントの先に燃機載トラックが一般国道を走っている危険と住む日本。もう何十年前からなんてね…。行動していかねば。

2011年3月11日の出来事を忘れず、常にコンシンントの先に、ある電気を使うということを考え、行動していかねば。

『ハリーズ』消田淳・团体会員紹介 飯能せつけん「せせらぎ」の活動について

木崎久美子

石けん作りは、平成3年10月に、市民団体「リバックみなみこま」の活動のひとつとしてスタートしました。

今までに「リバックみなみこま」の解散や、作業場所の変更などありましたが現在、クリーナー内で作業を始めました。

経費が掛かり、石鹼販売だけで活動の維持はかなりキツイ状況でしたが「飯能青年会議所」や「生活クラブ」などから助成金を頂くことで、継続することできました。

私は住む地域には下水道がなく、排水は直接、または合併浄化槽を通して川に流します。排水を

います。水は私たちの身体も通り環境の中を循環しています。水を守ることは命を守ることに繋がる

う抗生物質を作り出している)を合成界面活性剤が低下させていると言われている、といふことなど

を知りました。

私の住む地域には下水道がなく、排水は直接、または合併浄化槽を通して川に流します。排水を

います。水は私たちの身体も通り環境の中を循環しています。水を守ることは命を守ることに繋がるう抗生物質を作り出している)を合成界面活性剤が低下させている」と考

えます。

生物に与える合成洗剤の影響を知つて、川で泳ぐヤマメを想い、「自分たって、合成洗剤の中で泳ぐのは嫌だ」と感じ、生命に負荷の少ない石けんを広めたいと考へ、今日に至っています。

1回の作業で20リットルの廃油を使い、36キロ前後の粉石けんが出来ます。洗濯はもちろん食器類、トイ、お風呂などの掃除にも使用できます。

数年前、機械が老朽化し買い換えた。メンバーはそのまま老朽化が進んでいます。参加される方が募集中です。見学をお待ちしています。



*「飯能せつけん」



農民連食品分析センターを見学して

飯能市 印藤明代

6月25日、飯能市消団連の皆さんと、東京大板橋区にある農民連食品分析センターを見学してきました。

この施設は、1966年農民と消費者の募金により設立された民間の分析施設です。今までに残留農薬を始め、遺伝子組み換えや重金属、細菌等、幅広い分野にわたり検査をしてきました。そして誰でも利用できます。まさに庶民の味方、食の安全チェック施設です。中でも、冷冻ギョウザ問題は皆さんの記憶に新しいものではないでしょうか。

3・11後は、国内外からの募金を基に、放射能測定器を買取配し、土や食材のみならず、尿も検査しているとのこと。これには驚きました。

最初はNa-I(ヨウ化ナトリウムシンチレーション)検出器、その次はゲルマニウム半導体という機械の見学をしました。前者は①数百万円という手に入れやすい価格、②短時間で多くの食材を検査できる。③検出限界は10ベクレル止まり。それに比べ、ケルマニウム半導

体は、①1400万円という高価な機械。②10分では、5~7倍の値だが、半ベクレル/kgまでの値だが、半ほど時間延長すると(事前相談要)0・3ベクレル/kgと、より低い検出限界まで測定が可能。

検出方法は、Na-Iもゲルマニウム半導体も同じです。土や尿以外は水洗い→水分を拭く→包丁で細かくカット→ミキサーにかける→容量にあつた容器に隙間が無いように詰める→鉛の遮蔽箱に入れて測定→すると、付属の機械が値を補正しながら、まるで脳波のような連続した棒グラフ様の値を記録し続けます。出てくる順番に、セシウム134、セシウム137など読み取る力も必要です。

材料は骨や心を除く可食部のみ、1kg用意するのが原則です。一度は吸収されません。ウランの半減期は45億年。悲しい事ですが、多くの生物が生きていかれたる社会となるのが、一人一人が考へ行動する時代になつたようになります。(注:少ない材料では検出下限値が大きくなってしまうため、通常1時間の測定を延長し、より正確な値へ近づける対応をされるそうです)なお、すぐ購入したくても、受注生産でいることを感じた一日でした。

環境面では、外界からの影響を避けるため、「コンクリートで出来た部屋であること」、数トンという重量に耐えられる床への補強工事、およびエアコンによる室温調整が必要だったそうで、所長の八田さんより「消費者の安全を守るために取り組んできました。消費者と生産者の溝を深めてしまう点が辛い。多くのデータを公開する難しさはあるが、世界に与える影響を日本から発信していくねばという使命感もあり、取り組んでいます。」という決意をうかがうこともできました。

私は私たちに求められているものは、いったい何でしょう。福島の事故は大量消費への警鐘でしょう。この街でどう生き、どう暮らしていくべきなのか、課題が重すぎて逃げ出しが遅まつたが、できて報告が遅くなりました。でも、できることはしまします。今年度は放射能による汚染と核廃棄物を含む「ゴミ」を中心取り組んでいきたいと思っています。

あとがき
○会報24号から29号まで編集・制作を担当しました。巻頭イラストには時々、愛猫の姿を。毎回報行度も増刷して使って頂けた事が嬉しかったです。今号から早瀬さん小林さんにバトンタッチ。益々の充実に期待します。(大木有子)
○今号から担当します。会報の装いも新たに!一題字は小園徹さん。消団連の活動がますます意義を持つよう絆面で支えていきたいと思います。生き物にとって消費は自らを作りだす事「ラディカルな消費者でありたい。(小林茂樹)

新代表力づ採擣

川野安紀子

飯能市消費者団体連絡会
しようだんれん

「見えない恐怖 原発と農薬」 ドキュメント映画上映と講演会

1月26日(土) 飯能市市民活動センター(丸広7階)

「山のかなた」(76分) ①10時30分~ ②15時~

「ミツバチからのメッセージ」(57分) 12時30分~

お話し 御園 孝さん 13時30分~

参加費 500円 保育1人500円 受付締め切り1/19

市役所駐車場をご利用ください

問い合わせ: 飯能市消費者団体連絡会 090-5324-6412 川野